

平成23年度 石山プロジェクト **秋学期** 報告会

2月17日（金）、第1講義室において、「石山プロジェクト秋学期報告会」を開催し、秋学期の間、石山幼稚園、石山小学校でスクールサポーターを続けてきた学生たちが、自分たちの活動の成果と課題を振り返りました。



当日は、学生21名、石山幼稚園教員1名、石山小学校教員2名、助言者（滋賀県退職女性校長会から派遣）2名、大学教員2名、計29名が参加しました。

幼稚園グループは、年少児の転がしドッジ、年長児のドッジボール遊びでの様子を紹介し、ルールをめぐるトラブルに対する保育者の支援のあり方について考察しました。規則を守らなかった子どもの気持ちに共感しながら、規則を守ろうとする気持ちへ導く姿勢が大切であるとまとめました。



2年生グループは、メンバー全員が、春学期から継続して2年生と関わってきたこともあり、1年の間に子どもたち同士が学習や生活場面で、認め合ったり、教え合ったり、注意し合ったりできる関係になってきた具体例を報告しました。また、外国籍児童が日本語を習得していった様子を通して、粘り強く指導を続けることの大切さに気づきました。



3年生グループは、サポーターの心得として、自分からコミュニケーションをとり、子どもとの人間関係を築くこと。学習補助に関しては、その子にとってわかりやすい伝え方を心がけること。ほめるだけでなく、課題や目標をスモールステップで示すことも時に大切であること等、報告しました。また、授業に参加しづらかった子が、学習に対して前向きに取り組めるようになってきた様子から、子どもの成長に触れられるやりがいを確認することができました。



4年生グループは、「スクラム」という学年目標の4文字をキーワードに…

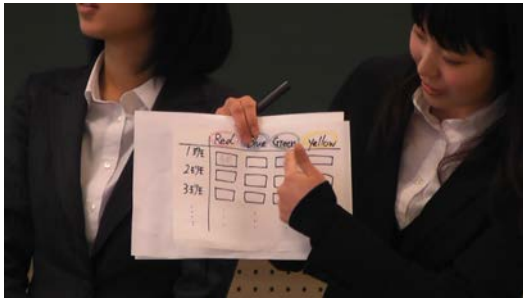
「㊦すべての〇〇に色がある」：子どもたち一人ひとりに個性があるとともに、学級集団により雰囲気が違う。

「㊦りかえし学ぶ姿勢」：学習習慣を身につけること、活動を継続することで力がつく。

「㊦いねんは」：下級生をいたわる心や、見通しや協調性をもつことでさらにすばらしい力をつけてほしい。

「㊦じゃきだけど大人っぽい」：幼さの中に、大人びた言動も見られる。大人が出過ぎることなく、なるべく子どもたちに任せる姿勢が必要である。等、報告しました。





5年生グループは、班の中で、赤・青・緑・黄の4色に対応する子を決めておき、色ごとに学習の準備や後片付けを分担させたり、手作りのホワイトボードを複数枚準備し、それを用いて考えを交流させたりする等、子どもたちの学びを支える教師の工夫について報告しました。最後に、子どもたち一人ひとりに応じた「オーダーメイド」の指導を心がけることが肝要であるとまとめました。

2. 聞いてください・・・
 私たちが・・・S.Sで得たこと・・・！！
 ①わかりやすい指導の大切さ
 ～自分が思うより100倍わかりやすく教えるんだよ!!!～
 ②真の指導とは、「オーダーメイド」なり！

6年生グループは、子どもが頼ってきた時に、支援を要するか否か、また、必要ならどれくらいの支援が妥当なのかの判断が、子どもたちの問題解決能力を育む上で大切であると報告しました。また、3学期に入ってからの毎日は、担任からは、卒業・進学を意識させる指導が増えていたことから、先の見通しを持たせることの大切さに気づきました。



なかよし学級グループは、「なかよし」をキーワードに・・・
 「㊦にかに会った時」：なかよし学級の子どもたちは、仲間が間違っただけをしたら「〇〇さん、ちがうで！」と注意をする。年齢や人間関係に関係なく声をかけあえる姿に感動した。

子どもの自分ができなかったこと、新たに習ったことができるようになる・わかる喜び
 ↓
 子どもの成長や先生との信頼関係
 ↓
 子どもの「できた！」瞬間の笑顔
 ↓
 この喜びをすべての児童に感じさせたい
 ↓
 教師になりたいという思いを強くさせた

「㊦かわることの大切さ」：ある子が「ぼく転校するねん。もう一回実験を見せてよ。」と言いに来た経験から、子どもとの関わり一つ一つを大切にしようと思った。



「㊦りよく学びたい」：学びと生活をつなぐことでよりよい学びができると考える。そこで、日常生活で目にする材料を使った科学マジックを続けてきた。

「㊦ずかな関わりで」：子どもと子どもが関わる時、何かしらの輝きが生まれると思う。その輝きをたくさん引き出すのが教師の仕事ではないだろうか。等、報告しました。



(※ある液体に他の液体を注ぐと、白発光する実験を披露)
 学生報告の後、石山幼稚園、石山小学校、滋賀県退職女性校長会（滋賀県梅の実会）の先生方から指導助言をいただきました。どのお話も、現場での豊富な体験をもとにされているので、学生たちにとって説得力のあるものでした。

スクールサポーターの皆さん、ご苦勞様でした。ここでの経験が、皆さんの今後に生かされることを祈っております。

お忙しい中、ご参会いただきました先生方、ありがとうございました。

